

「協働」によるまちづくりの推進

当市は、市民活動が活発であり、これまで様々な市民や市民活動団体が協力し合って、創造性豊かな活力ある地域社会を築いてきました。こうした市民の力は、これからのまちづくりにとってますます必要とされ、更に推進していくことが求められています。

社会の担い手として期待されている市民活動団体の中には、「市と協働して事業を進めたい」、「既に行われている行政の事業をより良いものにしたいたい」などの想いを持つ市民の皆さんも多くおられます。そうした皆さんからの提案を受け、対等な立場に立って、共に提案内容をよりよいものにするため力を合わせていくことをめざし、今年度「市民協

働事業提案制度」を創設しました。

この提案制度に基づき、共通の目的・目標のために連携することによって相乗効果が期待できる協働事業について募集したところ、6団体より提案が寄せられました。

6団体の提案については、市民協働事業提案制度審査委員会により、第1次審査（書類審査）、第2次審査（公開プレゼ

ンテーション）が行われ、審議の結果、5団体が「協働提案候補」として承認されました。

承認された団体は、今後市の協働事業担当課と協議を行い、「協働事業協定書」を締結、協働事業が始められることになります。

今号では、承認された5つの団体について紹介します。

広げよう・つなげよう 甲賀の子育て支援

育児ひろばアプリコット 代表 鹿田 由香さん

6年前に「親子でリフレッシュできる場を提供したい」との思いで活動を始めました。子育て真っ最中のお母さん、お子さんたちの交流の場としてコミュニティカフェや講座、体験会、サークル、情報発信等の事業を行っています。またみなさんのお住まいの地域の子育て支援の相談にも応じています。スタッフの多くは子育ての先輩ママで構成しており、気楽に利用していただける雰囲気作りを心がけています。

同じ子育て支援事業でも、私たちのような市民が行えば「気楽さ」を前面に出せると思います。行政と市民団体の利点を引き出せばよりよい事業展開が可能だと思い応募しました。

協働事業では、私たちの経験やノウハウを活かし、市内で子育てサロンなどが無い地域への立ち上げの支援、子育て団体・施設を結ぶネットワークの構築、多様な用途に対応する子育てサロンの実践など、横のつながりを大切にしたいと考えています。



大人も子どもも 自然豊かな里山で楽しい体験を

NPO法人甲賀の環境・里山元気会 代表 松本 源吉さん

7年前に、里山を復元し、未来を担う子どもたちに活用してもらおうと活動を始めました。

復元した里山には、遊具をはじめ、畑や、ビオトープ、ツリーハウス、炭焼き小屋などがあり、自然の中で遊んだり観察したりしながら体験を通して自然学習を行う場として、保育園、小学校、子ども会などに利用してもらっています。

今回、私たちの活動が、市内の他地域に広まれば、市内の里山はじめ自然環境保全につながっていくのではないかと思います。市との協働事業提案制度に応募しました。

市との協働事業となれば、事業に対する信頼度が高まること

が期待されます。また市が里山保全の取り組みを行っていることを市民が知れば、市内の各地域でも私たちと同じような取り組みが生まれてくると思います。その時は、私たちが経験を生かした事業立ち上げの支援やアドバイスが行えます。私達の取り組みをモデルとして、活用していただけたらと思います。



歴史街道整備を市民の手で

今郷好日会 代表 長 隆義さん

土山宿と水口宿の間にある旧東海道沿いの地域では、歴史街道整備が行われていない地域がほとんどで、歴史文化遺産が埋もれている状態です。

先人による歴史書「私たちの今郷」の復刻に関わったメンバーが中心となり、2年前「今郷好日会」として活動しています。

地元に残る歴史、名所、言い伝えや昔話等を次世代に残し、歴史的遺産の整備などを通して、地域住民を巻き込んだまちづくりをしたいという思いが、市民協働提案事業の意図するところと合致しているので今回応募しました。

協働事業としては、史蹟周辺整備、街道沿いの美化・環境整備、街道案内パンフレットや看板の作成を予定しています。事業実施には、市行政の複数の担当課との調整が必要になります。市担当課には事業が円滑に進むようこの調整

役をお願いしたいと考えています。

また、私たちの活動が、周辺地域の取り組みのモデルとなるよう推進の後押しも市にお願いしたいと思います。



子どもたちの居場所として

子どもたちの生きる力応援隊 代表 服部 登貴枝さん

甲南地域には適応指導教室など、学校に行けない子どもたちへのサポートの場がありません。

そのため、居場所の確保は必要で重大な課題でした。

子どもに寄り添い、支える組織をつくりたいという想いを持った仲間13名が、今年春「子どもたちの生きる力応援隊」を結成しました。

その仲間には、教職員OBやお母さんまで、様々な経験者がいます。

勉強会や話し合いを繰り返してきましたが、1月から週1回金曜日に甲南町葛木の多世代交流型地域拠点元気村で、子どもたちの居場所となる「のびっこ広場」をはじめることになりました。

この事業は、学校や市との連携は欠かせません。今回この制度により協働が可能になったことは、たいへん心強く、がんばって取り組みを進めたいと思います。



問い合わせ

地域コミュニティ推進室
☎65-0604 ☎63-4554